

2013年4月12日

一般社団法人 日本画像医療システム工業会

「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2020」策定の件

一般社団法人 日本画像医療システム工業会（以下「JIRA」という、会長 小松 研一）は、医療を取り巻く環境・社会ニーズの変化、医療技術の進歩、ボーダレス化する事業環境の中で、2020年の画像医療システム産業の姿を想定した将来ビジョン「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2020」を策定し本日公表致します。

（医療・社会環境の変化）

高齢化社会に移行する中で日本をはじめ先進国の人口は中長期的には減少しますが、新興国の人口の増加、経済成長に伴い医療・健康関連の市場は拡大することが予想されます。その中で高齢化社会へ対応した医療システムの構築が各国共通の課題となります。また、国際関係のボーダレス化、多様化が進み医療、医療経済においても新たな国際的な仕組み・枠組みが生まれています。

一方、高齢化、経済成長の進行、疾病動向の差、医療インフラの整備状況の差による地域ニーズの違いへの対応も要請されるようになります。

こうした中で日本の産業がボーダレス化する市場環境の中で成長して行くには、安全、安心、高品質で、高齢化社会のニーズを先取りした医療機器を開発し、医療と一体となり海外展開し、海外の医療インフラ整備、医療ニーズに対応して行くことが必要となります。

（画像医療システム産業ビジョン）

こうした背景の中で2020年を想定して「画像医療システム産業」ならではの特性をレビューしながら、画像医療システム産業が将来の医療に貢献し、グローバルな事業の拡大をはかって行く姿を次の4項目にまとめたのが「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2020」です。

1. 少子高齢化社会にあって世界に先駆けた医療イノベーションを実現
2. 予防・健診・診断・治療から、広くヘルスケアの領域で、質の高い医療環境を実現
3. ICT利活用促進により医療の質向上と医療機器産業拡大
4. 日本ならではの医療、医療システムを世界に提供

JIRA は画像医療システム産業の将来ビジョンを会員企業、医療関係者、官学、国民、および海外の関係者に示し理解、共有化いただくことにより JIRA の産業団体活動の方向付けと活性化を図り、産業の強化・拡大の基礎と致します。

【一般社団法人日本画像医療システム工業会について】

1924 年小規模な協議会からスタートして1967年に日本放射線機器工業会を設立以来日本における放射線医療の発展とともに歩みつづけ、今日では放射線機器・画像医療システム等を供給し、つねに先進の医療環境をサポートする174社(2013年4月現在)の会員会社を擁する産業団体に成長しました。

当工業会は、設立当初から業界標準化の推進や法規制問題、安全性問題等に幅広く取り組み、人々の健康と福祉に貢献してきました。高齢化社会への対応が急がれる21世紀。今後は、予防・健康管理から早期発見・診断・治療まで、医療機器とそれに伴うサービスやソリューションの範囲を拡げていくことが使命であると考えます。

当工業会各社は、画像医療システム産業を健全に発展させ、国民の健康と日本経済の発展に貢献できるよう一丸となって活動していきます。

※ JIRA は一般社団法人 日本画像医療システム工業会の商標です。

本資料に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 TEL:03(3816)3450 <http://www.jira-net.or.jp>

事務局 西口 産業戦略室 松本